

R 7 坂本小学校学力向上プラン

＜ 第5次総合計画 基本施策G1 ＞
「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」
G1-1 「確かな学力」の向上を図ります
G1-2 健やかな心と体を育成します
G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります
G1-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します

＜ 学校教育目標 ＞
「笑顔の花を咲かせよう」

＜ めざす児童像と育てたい力 ＞
○元 気(明るい・たくましい・あきらめない)ー自分で解決しようとする力・やり抜く力(夢と挑戦、耐性)
○笑 顔(仲良く・助け合う・感謝の心をもつ)ー感じる力・伝える力(かかわり、自他のよさに気づく)
○やる気(進んで学ぶ・工夫する・学ぶ習慣を身に付けている)ー考える力・振り返り、生かす力(選択する、練り合い、創る)

＜ 「確かな学力」におけるめざす児童の姿 ＞

- ・自ら学びに向かう(関心をもつ・考える・探究する)
- ・粘り強く課題解決に取り組む
- ・協働して学びに向かう(考えを伝える・話し合う)

＜ 児童の実態 ＞

- 《国語》・多くの文章から条件を見付け、整理して書く力が不十分である。
・漢字の書き取りが不十分である。
・自分の考えを相手に伝えるよう、分かりやすく話すことが苦手である。
- 《算数》・基本的な計算力は少しずつ向上しているが、個人差が大きい。
・問題解決の方法について、図や式をもとに論理的に説明することが苦手である。
- 《共通》・問題の意図の読み取りが不十分である。
・複数の情報を関連付けて整理して書くことが苦手である。
・家庭学習の習慣が定着していない児童がいる。
・個人差が大きく、苦手な子の意欲の向上が図られることが重要である。

【 基礎基本の定着 】

- 「はげみタイム」の有効活用(週2回)
※漢字・ローマ字等の小テスト
※新聞記事の活用
- 「読書タイム」「朝読書」の充実
- 家庭学習の習慣化
- 効果的なT・T授業の実施
- 国語科「たいせつ」の活用

【 校内研究 】

- 自ら学びに向かう児童の育成
～「学んでよかった！」と思える瞬間をとらえる～
- 自ら学びに向かう児童に「必要な力」の育成
(読み取る力・考える力・伝える力・聞く力・振り返る力・耐力)
 - 生活を行き来する教材開発
 - 「学んでよかった！」の可視化
 - 個人差への手立て
 - 児童アンケートの活用

＜ 学級経営の充実 ＞

- 学習規律の確立
 - ・「坂本っ子のきまり」の徹底・定着
 - ・授業前準備の徹底・定着
 - ・正しい姿勢の徹底
- 支持的風土の醸成
 - ・間違いから学ぶ
 - ・互いの良さに気づき、認め合う
- 粘り強く取り組む態度の育成
- 児童・保護者・教師の信頼関係の確立

＜ 教育活動の充実 ＞

- 道徳教育
- 特別支援教育
- 学校行事・特別活動
- 体験活動
 - ・被爆体験聞き取り ・平和ウォーク
 - ・太鼓山 ・独楽回し体験
 - ・ハタ作り体験 ・田植え ・稲刈り体験
- 図書館教育の充実
 - ・朝読書 ・読書の木
 - ・全校で20000冊
(低…110冊、中…100冊、高…90冊)

【 「学びに向かう力」を育む授業の創造 】

- 「学びの習慣化メソッド」を活かした授業
 - ・魅力的な教材と出会让せる。
 - ・「自己決定」する場面を設ける。
 - ・自分を見つめるための振り返りをする。
 - ・授業外の学びを生かす場を設ける。
- 「書く活動」を重視する授業
 - ・主語や述語を明確にした文章を書く。
 - ・根拠を明確にした文章を書く。
 - ・条件に合った文章を書く。
 - ・複数の資料から読み取り、考えを表現する。
- 「ねらい」と「まとめ」が児童に届く授業
- 対話活動(ペア・グループ・全体)のある授業
- ICTを活用した授業(キュビナの活用)
- 生活場面との関連を実感できる授業

＜ 指導体制の充実 ＞

- T・T・個別指導
- 支援員・ICT支援員・学校司書との連携
- 校内支援委員会
 - ・児童理解連絡会
 - ・個別の支援・指導計画
- 特別支援学級との交流

学びを支える素地

＜ 学習環境の整備 ＞

- 活動環境の整備
 - ・ユニバーサルデザイン化
- 学習用具の共通理解
- 学習のきまりの定着
- ICT機器の活用

＜ 家庭との連携 ＞

- 「よくわかる！坂本小学校」の配付
 - ・学習用具やChromebookの使い方等の共通理解
 - ・学びの習慣化
 - ※「家庭学習のすすめ」の配付
 - ・「あ・は・は運動」の奨励
- 基本的な生活習慣作りのサポート
 - ・「坂本っ子元気アップ！チャレンジ」の取組
- 学校保健委員会
- 面談・懇談会等での情報の共有化

＜ 地域との連携 ＞

- 地域行事への参加の奨励
 - ・山王くんちへの参加
- 学校教育活動への協力依頼
 - ・生活科・総合的な学習の時間
 - ・安全指導(立哨・集団下校)
- 幼稚園・保育園との連携
- 4校合同研修会